

模索する「安心して暮らせるわがまち」

子どもを狙った犯罪が、全国で相次いでいます。二〇〇一年の大教大付属池田小学校で起きた児童殺傷事件以後、県内でも警察と学校のホットラインを設置するなど、さまざまな取り組みが取られてきましたが、いまだに事件は後を絶ちません。現在は「子どもが安心して暮らせるまち」を目指し、学校などの教育現場だけではなく、警察や地域の住民らが連携を図っています。各機関や地域の取り組みを紹介し、「子どもの安全」について考えてみようと思います。



護身術を学ぶ教職員―市立大社小学校

全校園から200人参加

先生の護身術教室

「痛い、痛いよ」「そうか、こうすれば動けなくなるんだ」二人一組になった先生たちが、相手の腕をひねり上げます。どの顔も真剣そのものです。

子どもたちを守る術を身につけようと、このほど大社小学校(桜谷町)で開かれた「防犯実技教室」には、市内の公、私立全学校園から約二百人の教職員が参加しました。学校に不審者が侵入したと想定し、全員

が講義しました。「大事なものは相手を興奮させないこと」「ほかの先生とどう連絡を取るか、どうすれば早く通報できるかなど、日頃から「もしも」を想定した準備をしてください」といったアドバイスに、熱心にメモを取る姿がみられました。

また、机やイス、掃除用具入れなどが並べられ、教室が再現された体育館では、ナイフを持った男が侵入、暴れ出したと想定して実技訓練が行われました。モップやほうきも効果的に使えば、凶器を持った相手

手を撃退できます。教職員が教師役、不審者役を務め、実演に挑戦です。不審者の手を強いたたいてナイフを落とさせたり、目や胸を突いて体勢を崩させたりする方法を習いました。後ろから近づいて足元を払うのも効果があります。

ほかに、もみ合いになった場合には相手の手や腕をひねって動けなくする「体捌き」などを二人一組になって練習しました。

参加した西宮浜小学校二年三組担任の仁木雄次郎先生(三)は「もしものときには、学んだことを生かしたい」と話していました。額に浮き上がった汗が、子どもたちを守る決意を表していました。

子どもたちの緊急事態には、正確で迅速な情報伝達が大切です。このため西宮市では、市教委が中心となって「緊急連絡体制」を整備しました。また、市内の学校園には兵庫県警本部に直接つながる「県警ホットライン」が設置され、いち早い通報に備えています。

県警ホットラインは、二〇〇一年に大教大付属池田

声を掛けられるなど、昨年是一年間で十六件の通報がありました。西宮市では現在、約百二十カ所に設置されており、公立の幼稚園、保育所、小中学校のほか、児童館や私立小学校園、児童養護施設などもカバーしています。

また、子どもを狙った事件の続発を受け、市教委では本年度、各学校や幼稚園

「子どもを守れ」地域一丸

「校内に不審者」を想定



「早く逃げる」。校庭に避難する児童ら―市立鳴尾東小学校

児童の避難訓練

「ただいま一階でガス漏れが発生しました」市立鳴尾東小学校(笠屋町)で校内放送が響きました。でも、本当はガス漏れではありません。「ガス漏れ」は「緊急事態発生」という意味の同様の暗号なのです。

校内に不審者が侵入した場合、児童をいかにスムーズに避難させられるか。子どもを狙った事件が相次いだことを受け、同校でこのほど初めての不審者対応訓練が開かれ、担任の先生の

指示に従い、速やかに校庭へ退避する訓練に取り組みました。不審者が校舎一階の「ひまわり教室」に棒を持って侵入した、との想定です。

知らせを受けた担任の竹之内典子先生(四)は、指導協力員に児童の避難誘導を頼み、異常事態を知らせる笛を力いっぱい吹きました。隣の教室からは細見朋子先生(三)「一年一組」が非常ベルを鳴らした後、消火器を持って駆けつけました。不審者の目つぶしのほか、

不審者に目印を付けるという効果があります。校内では非常ベルが鳴り響き、児童たちは担任の先生の指示に従って、現場の教室を避け、落ち着いて校庭に避難しました。同時に岩根敬子校長先生(五)が、職員室の「県警ホットライン」を使って警察に事件を通報。知らせを受けた甲子園署から署員が駆けつける

と、棒や消火器などを構えて不審者役の署員を取り押さえた教師たちが、署員の到着を待ち、無事に引き渡

しました。この日の訓練は万事スムーズに進行しました。

終了後、署員は児童に、校外で不審な人に声を掛けられたりした場合も、先生やおうちの人が、交番のお巡りさんに、すぐに報告してくださいと呼び掛けました。

西宮市では本年度、市内の市立小学校全校で防犯教室が開かれました。新年度からも教室の開催を続けていく方針です。

ご存知ですか？

小で起きた児童殺傷事件を受けて考えられました。職員室などに設置されたボタンを押すと、学校名や住所、付近の地図が県警通信指令課に即座に表示されます。通報者は状況を伝えればいいだけで、通報時間の短縮で警察官が一〇番より早く現場に到着できるシステムになっています。不審者の侵入や登下校中の児童が

を結び緊急連絡体制を作りました。警察から事件発生

の報告を受けた市教委が、現場の最寄りの学校などに事件の概要や注意点を伝え

そこから地区内の別の学校や幼稚園などに連絡網を回す仕組みです。家庭には学校の連絡網で連絡が届きます。また市内全域の学校への一斉ファクス送信も整えています。

市教委の緊急連絡

市教委の緊急連絡網は、本年度、各学校や幼稚園